

# 環境経営レポート



対象期間： 令和3年9月1日 ～ 令和4年8月31日  
(2021. 9. 1) (2022. 8. 31)

令和4年10月25日 発行



株式会社 田辺豊建設

## 目 次

	ページ
1. 組織の概要	1.
2. 対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日	2.
3. 環境経営方針	3.
4. 環境管理組織体制	4.
5. 環境経営目標	5.
6. 環境経営計画	6.
7. 環境経営目標の実績	7.
8. 環境経営計画の取組結果とその評価	9.
9. 次年度環境経営目標	12.
10. 次年度の環境経営計画の取組内容	13.
11. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	14.
12. 代表者による全体評価と見直しの結果・指示	15.

発行日： 令和4年10月25日

発行責任者： 環境管理責任者 宮崎智伸

次回発行予定： 令和5年10月頃

## 1. 組織の概要

【事業所名】 株式会社 田辺豊建設

【代表者氏名】 代表取締役 田辺佳雄

【所在地】 〒787-0019  
本社 高知県四万十市具同2411番地

具同倉庫 高知県四万十市具同田黒3丁目2250-1

### 【環境管理責任者氏名及び担当者連絡先】

環境管理責任者氏名 工務 工事部長

連絡先担当者 総務担当者

連絡先 TEL : 0880-37-3344

FAX : 0880-37-3950

E-mail: [ta2411@ruby.ocn.ne.jp](mailto:ta2411@ruby.ocn.ne.jp)

### 【事業活動の内容】

#### 建設業

建設業許可 特定建設業 高知県知事許可  
許可番号 (特-2) 第1034号  
許可年月日 令和3年2月4日  
建設業の種類 土木工事業、とび・土工工事業  
石工事業、鋼構造物工事業  
舗装工事業、しゅんせつ工事業  
水道施設工事業

### 【事業規模】

設立年月日 昭和27年4月15日

資本金 2,300万円

完成工事高 680,29万円 (令和4年8月決済)

従業員数 30名 (令和4年8月末現在)

事業所敷地面積 1,957㎡

事業所延べ床面積 187㎡

倉庫敷地面積 1,183㎡

倉庫延べ床面積 480㎡

会計年度 9月 ~ 8月

## 2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

### 【対象範囲（認証・登録範囲）】

株式会社田辺豊建設 全社

本社 高知県四万十市具同2411番地

具同倉庫 高知県四万十市具同田黒3丁目2250-1

対象事業： 土木工事業、とび・土工工事業  
石工事業、鋼構造物工事業  
舗装工事業、しゅんせつ工事業  
水道施設工事業  
上記事業に付帯関連する一切の業務

### 【レポートの対象期間】

令和3年9月1日～令和4年8月31日

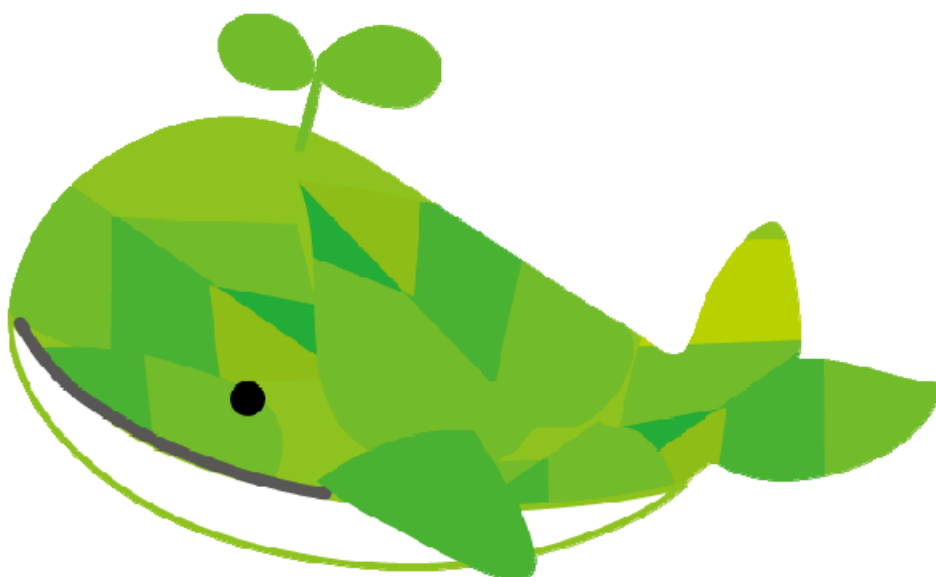
### 【環境活動レポートの発行日】

令和4年10月25日

### 【作成責任者】

環境管理責任者

宮崎智伸



### 3. 環境経営方針

株式会社 田辺豊建設は『 努力、忍耐、継続 』を社是に掲げ、  
全社員で目的意識を高め自然豊かな四万十川流域の環境状況、動向に  
配慮しつつ法規・条例を遵守し、地域と共にさらなる進歩発展を目指  
していきます。

#### 【基本方針】

1. 当社が施工するすべての工事において、環境負荷を低減し継続的改善による環境経営を推進していきます。
2. 重機、車両の燃料使用量削減により、二酸化炭素排出量削減に努めます。
3. 事業活動における電力使用量削減により、二酸化炭素排出量削減に努めます。
4. 事業活動における廃棄物排出量削減及び、再資源化に努めます。
5. 事務所、倉庫、現場における水使用量削減に努めます。
6. 環境関連法規及び条例等を遵守します。
7. 地域周辺の環境に対する貢献やボランティア活動へ積極的に取り組みます。
8. 環境経営方針は全従業員に周知し、環境保全意識の向上を図ります。
9. 環境経営レポート他の環境状況について、外部に公表します。

制定日 平成 23年 3月 31日

改定日 令和 元年 9月 1日

代表取締役

田辺佳雄



## 4. 環境管理組織体系図



環境管理システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者 代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境経営に関する統括責任</li> <li>・ 環境経営システム実施に対する準備提供</li> <li>・ 環境経営方針の策定、見直し、決定および全従業員へ周知</li> <li>・ 環境管理者の任命、環境管理実施体制の構築</li> <li>・ 代表者による全体の評価と見直し</li> <li>・ 環境経営目標、環境経営計画書、環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>・ 環境関連法規等の取りまとめ確認、承認</li> <li>・ 環境経営目標、環境経営計画書の確認</li> <li>・ 環境経営活動の取り組み結果を代表者へ報告</li> <li>・ 環境経営レポートの確認</li> </ul>
E A 21事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境管理責任者の補佐</li> <li>・ 環境負荷・環境への取り組みの自己チェックの実施</li> <li>・ 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成</li> <li>・ 環境関連法規等の取りまとめ表作成、表に基づく遵守評価の実施</li> <li>・ 環境経営活動の実績集計</li> <li>・ 環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>・ 環境経営レポート、必要書類等の作成、公開、管理</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各部門に於ける環境経営の実施</li> <li>・ 従業員に対する教育訓練の実施、記録の作成</li> <li>・ 環境経営計画の実施、及び達成状況の報告</li> <li>・ 問題点の発見、是正処置及び予防処置の実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>・ 決められた事を守り、自主的、積極的に環境経営活動へ参加</li> </ul>

## 5. 環境経営目標

### (1) 単年度目標

項目		基準年	R3年度		
		H27.9-R元.8 (平均値)	R3.9-R4.8		
削減目標	燃料使用量(ℓ)	ガソリン	16,341	15,850	(3%減)
		軽油	71,464	69,320	(3%減)
		灯油	1,468	1,424	(3%減)
	電力使用量(kWh)		18,392	17,840	(3%減)
	CO <sub>2</sub> 排出量(kg-CO <sub>2</sub> )	*1	238,634	231,475	(3%減)
	用水使用量(m <sup>3</sup> )		364	353	(3%減)
	一般廃棄物排出量(kg)		311	302	(3%減)
達成目標	廃棄物再資源化率(%)	*2	100%	100%	(100%)
	環境負荷の少ない工事件数(%)	*3	100%	100%	(100%)
	環境美化活動(ロードボランティア回数)		10	10	(継続)

### (2) 中長期目標

項目		基準年	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
		H27.9-R元.8 (平均値)	目標 3%減 R3.9-R4.8	目標 4%減 R4.9-R5.8	目標 5%減 R5.9-R6.8	目標 6%減 R6.9-R7.8		
削減目標	燃料使用量(ℓ)	ガソリン	16,341	15,850	15,687	15,524	15,361	(毎年1%減)
		軽油	71,464	69,320	68,605	67,891	67,176	(毎年1%減)
		灯油	1,468	1,424	1,410	1,395	1,380	(毎年1%減)
	電力使用量(kWh)		18,392	17,840	17,656	17,472	17,288	(毎年1%減)
	CO <sub>2</sub> 排出量(kg-CO <sub>2</sub> )	*1	238,634	231,475	229,089	226,702	224,315	(毎年1%減)
	用水使用量(m <sup>3</sup> )		364	353	349	346	342	(毎年1%減)
	一般廃棄物排出量(kg)		311	302	299	295	292	(毎年1%減)
達成目標	産業廃棄物再資源化率(%)	*2	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	環境負荷の少ない工事件数(%)	*3	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	環境美化活動(ロードボランティア回数)		10	10	10	10	10	継続

\*1. 電力のCO<sub>2</sub> 発生量については、電気事業者別のCO<sub>2</sub> 排出係数(H29年度実績)

の四国電力の調整後排出係数0.535(kg-CO<sub>2</sub>/kWh)を使用した。

\*2. 原材料としての利用が不可能なものをのぞく。

\*3. 環境負荷の少ない工事:環境負荷の少ない材料を使用。

低騒音、排出ガス対策型重機の使用。

型枠、工事看板への間伐材の使用。

濁水防止対策の実施。

{環境負荷の少ない工事/受注工事件数} × 100

## 6. 環境経営計画

項目		活動内容	責任者	
CO <sub>2</sub> 排出量 削減	燃料使用量 削減	○ 現場通退勤時の乗り合わせ	環境管理責任者  宮崎  工務	
		○ アイドリングストップの徹底		
		○ 急発進、急加速の禁止		
		○ 重機の効率良い運転		
		○ 車両、重機を低燃費車に順次入替		
	電力使用量 削減	○ 不要照明の消灯	事務局  桑原  総務	
		○ エアコン設定温度の厳守（冷房28℃ 暖房20℃）		
		○ エアコンフィルターの定期的な清掃		
		○ O A機器のスイッチオフ及び省電力設定		
		○ LEDへ順次、移行		
		○ 省電力製品への買換え、検討		
用水使用量削減 (排水量削減)	○ 節水意識向上の為の表示	事務局  桑原		
	○ 水道使用後の蛇口の閉まり具合確認			
	○ 洗濯時、一定量まとめて洗濯			
	○ 蛇口等、水回り部の水漏れ点検			
	○ 必要以上に水量を強めない			
廃棄物削減	一般廃棄物	○ ペットボトル飲料の購入を控え、マイボトルを持参	事務局  桑原  総務	
		○ 使用済インクカートリッジの回収、リサイクル		
		○ 両面、集約コピーの促進		
		○ ミスプリントの裏面使用		
		○ シュレッダーによる再利用不可書類のリサイクル		
	産業廃棄物	○ 現場での有効利用の検討	各工事担当者	
		○ 産業廃棄物の適正処理		
	社会貢献活動		○ ボランティア活動への積極的参加	工務
			○ 現場周辺での地域社会貢献	
環境負荷の少ない工事実施		○ 環境負荷の少ない材料を使用	工務  各工事担当者	
		○ 低騒音、排出ガス対策型重機の使用		
		○ ICT搭載重機の使用		
		○ 型枠、工事看板への間伐材の使用		
		○ 濁水防止対策の実施		
		○ 手戻り工事なしの促進		



## 7. 環境経営目標の実績

### (1) 本年度実績

項目		基準年 H27.9-R元.8 (平均値)	R3年度 目標 R3.9-R4.8	R3年度 実績 R3.9-R4.8	削減率・達成率 (%)	評価
削減目標	燃料使用量(ℓ) <b>ガソリン</b>	16,341	15,850	12,602	-20.5	○ 達成
	<b>軽油</b>	71,464	69,320	64,768	-6.6	○ 達成
	<b>灯油</b>	1,468	1,424	620	-56.5	○ 達成
	電力使用量(kWh)	18,392	17,840	12,734	-28.6	○ 達成
	CO <sub>2</sub> 排出量(kg-CO <sub>2</sub> ) *1	238,634	231,475	204,550	-11.6	○ 達成
	用水使用量(m <sup>3</sup> )	364	353	125	-64.6	○ 達成
	一般廃棄物排出量(kg)	311	302	455	50.8	× 未達成
達成目標	産業廃棄物再資源化率(%) *2	100%	100%	99.1%	99.1	*2 残りは不可能なもの
	環境負荷の少ない工事件数(%) *3	100%	100%	100%	100.0	○ 継続
	環境美化活動(ロードボランティア)	10	10	10	100.0	○ 継続

\*1. 電力のCO<sub>2</sub>発生量については、電気事業者別のCO<sub>2</sub>排出係数(H29年度実績)

の四国電力の調整後排出係数0.535(kg-CO<sub>2</sub>/kWh)を使用した。

\*2. 原材料としての利用が不可能なものをのぞく。

\*3. 環境負荷の少ない工事：環境負荷の少ない材料を使用。

低騒音、排出ガス対策型重機の使用。

型枠、工事看板への間伐材の使用。

濁水防止対策の実施。

[環境負荷の少ない工事/受注工事件数] × 100

削減目標式 : 削減率 = { (実績値 / 目標値) - 1 } × 100 (%) 評価 = (— 数値) が ○ 達成

達成目標式 : 達成率 = (実績値 / 目標値) × 100 (%)

評価 : 達成 ○、不十分 △、未達成 ×

燃料使用量(ℓ)	受注工事内容にあいまって、現場が遠方でなかった事や、車両重機の入替によってガソリン、軽油量が削減された。
CO <sub>2</sub> 排出量(kg-CO <sub>2</sub> )	自社重機の新型化、ICT搭載型重機の使用が主な理由と思われる。
用水使用量(m <sup>3</sup> )	現場で使用することがなく、事務所倉庫のみであった為と洗濯物がたまってからの洗濯で電気代と水使用量が抑えられた。
一般廃棄物排出量(kg)	本年度は排出量は増えたが分別は出来ているし、両面使用済コピー用紙や厚紙、段ボール等はリサイクルセンターへ持込再資源化している。
廃棄物再資源化率(%)	廃プラ類や混合廃棄物の発生する工事以外では再資源化出来ている。
環境負荷の少ない工事件数(%)	全工事において達成、継続中。
環境美化活動(ロードボランティア)	達成、継続中。

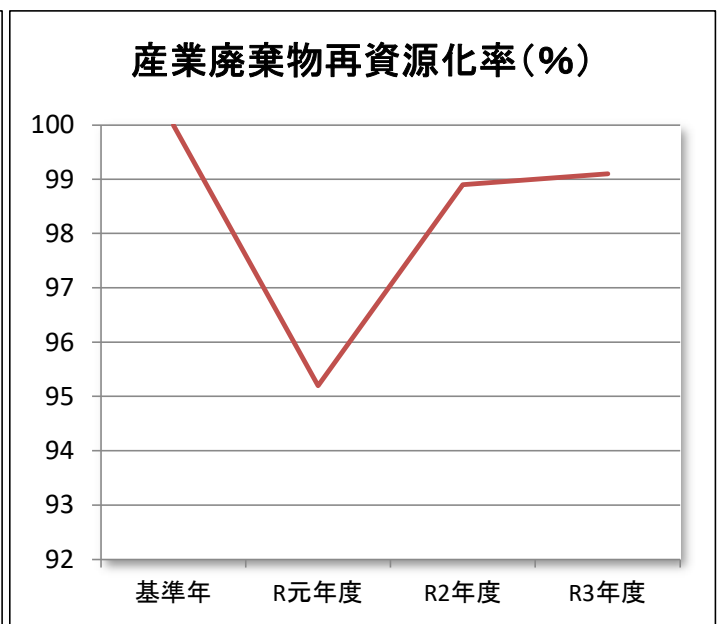
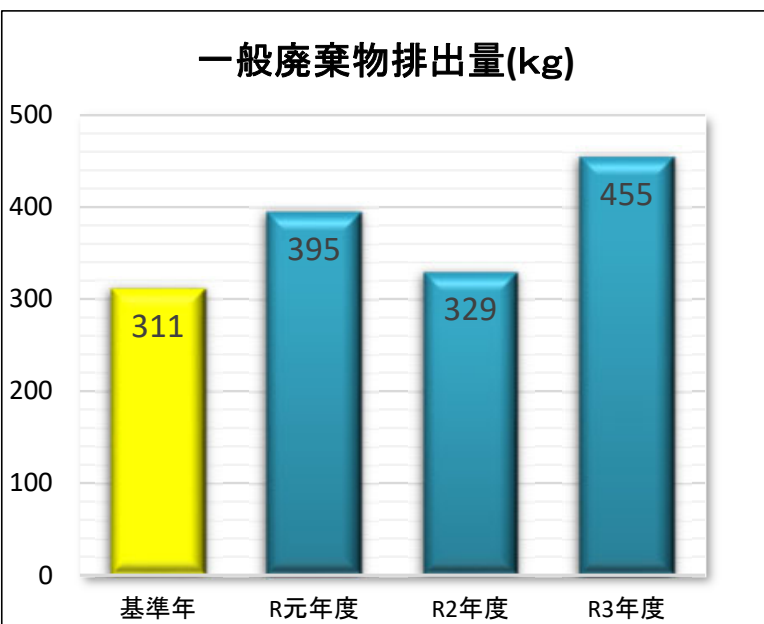
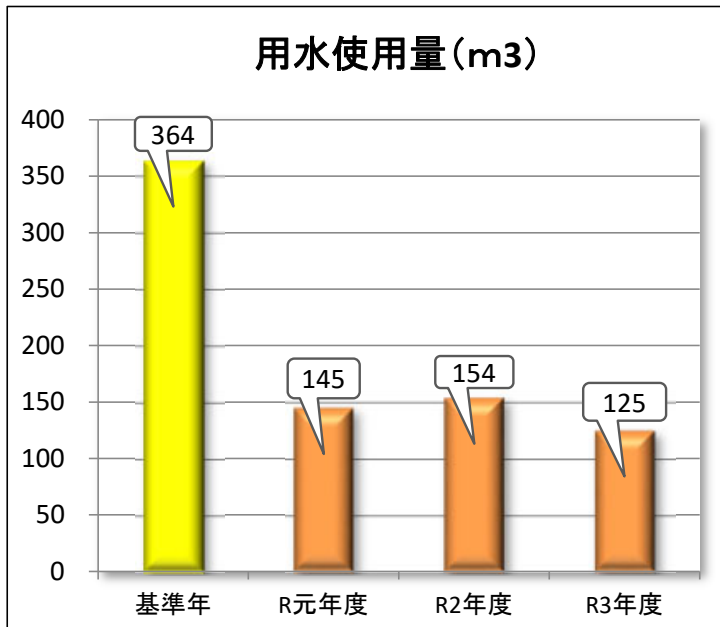
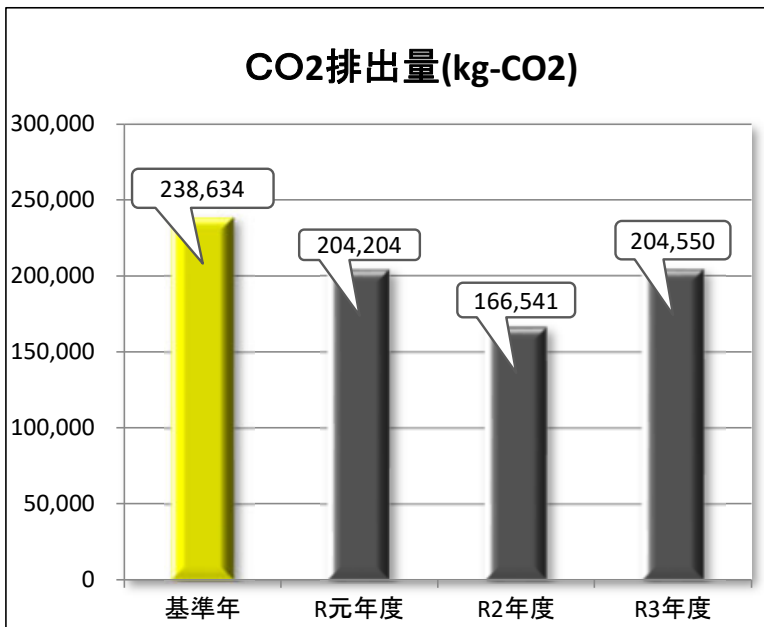
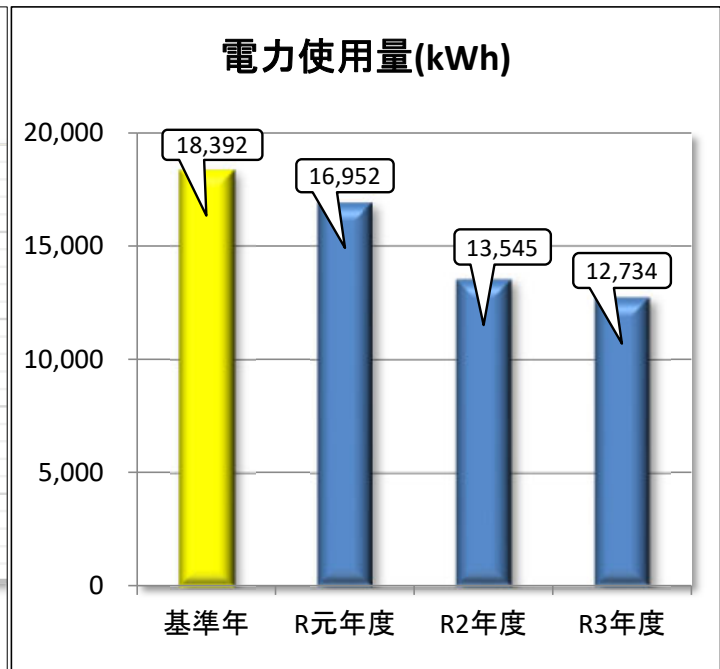
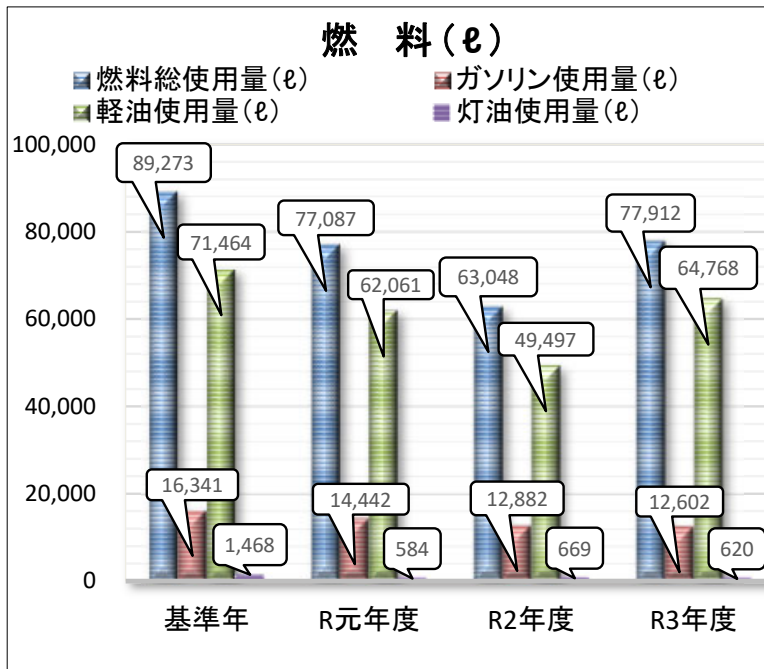
### (2) 過去3年間の実績の推移

項目		基準年 H27.9-R元.8 (平均値)	R元年度 実績 R元.9-R2.8	R2年度 実績 R2.9-R3.8	R3年度 実績 R3.9-R4.8
削減目標	燃料使用量(ℓ) <b>ガソリン</b>	16,341	14,442	12,882	12,602
	<b>軽油</b>	71,464	62,061	49,497	64,768
	<b>灯油</b>	1,468	584	669	620
	電力使用量(kWh)	18,392	16,952	13,545	12,734
	CO <sub>2</sub> 排出量(kg-CO <sub>2</sub> )	238,634	204,204	166,541	204,550
	用水使用量(m <sup>3</sup> )	364	145	154	125
	一般廃棄物排出量(kg)	311	395	329	455

### (3) 原単位の把握(完成工事高百万円当りのCO<sub>2</sub>排出量)

	単位	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
完成工事高	百万円	525	445	400	528	680
CO <sub>2</sub> 排出量	t-CO <sub>2</sub>	174	294	204	166	204
完工高百万円当りのCO <sub>2</sub> 排出量	t-CO <sub>2</sub> /百万円	0.331	0.66	0.51	0.31	0.3

#### (4) 項目別の3年間の実績グラフ



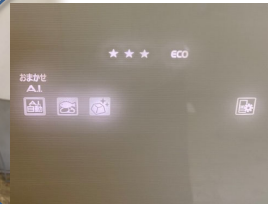
## 8. 環境経営計画の取組結果とその評価

期間：令和3年9月 ～ 令和4年8月

R3 R4 R4

項目		活動内容	取組結果	12月	4月	8月	見直し
CO <sub>2</sub> 排出量 削減	燃料使用量 削減	○ 現場通退勤時の乗り合わせ	良好	○	○	○	概ね出来ているがさらに徹底していく
		○ アイドリングストップの徹底	良好	○	○	○	概ね出来ているがさらに徹底していく
		○ 急発進、急加速の禁止	良好	○	○	○	概ね出来ているがさらに徹底していく
		○ 重機の効率良い運転	良好	○	○	○	概ね出来ているがさらに徹底していく
		○ 車両、重機を低燃費車に順次入替	良好	-	○	-	順次入替えしていく
	電力使用量 削減	○ 不要照明の消灯	良好	○	○	○	良好につきこのまま継続
		○ エアコン設定温度の厳守（暖房20℃冷房28℃）	良好	○	○	○	良好につきこのまま継続
		○ エアコンフィルターの定期的な清掃	良好	○	-	○	良好につきこのまま継続
		○ O A機器のスイッチオフ及び省電力設定	良好	○	○	○	良好につきこのまま継続
		○ LEDへ順次、移行	良好	-	-	-	移行済み
		○ 省電力製品への買換え、検討	買換え時に適宜	-	-	○	順次入れ替えていく
用水使用量削減 (排水量削減)	○ 節水意識促進の為の表示	良好	○	○	○	良好につきこのまま継続	
	○ 水道使用後の蛇口の閉まり具合確認	良好	○	○	○	良好につきこのまま継続	
	○ 洗濯時、一定量まとめて洗濯	良好	○	○	○	良好につきこのまま継続	
	○ 蛇口等、水回り部の水漏れ点検	良好	○	○	○	良好につきこのまま継続	
	○ 必要以上に水量を強めない	良好	○	○	○	良好につきこのまま継続	
廃棄物削減	一般廃棄物	○ペットボトル飲料の購入を控え、マイボトルを持参	良好	○	○	△	真夏には熱中症予防の為にやむなし
		○ 使用済インクカートリッジの回収、リサイクル	良好	○	○	○	良好につきこのまま継続
		○ 両面、集約コピーの促進	良好	○	○	○	良好につきこのまま継続
		○ ミスプリントの裏面使用	良好	○	○	○	良好につきこのまま継続
		○ シュレッダーによる再利用不可書類のリサイクル	良好	○	○	○	良好につきこのまま継続
	産業廃棄物	○ 現場での有効利用の検討	良好	○	○	○	良好につきこのまま継続
		○ 産業廃棄物の適正処理	良好	○	○	○	良好につきこのまま継続
社会貢献活動	○ ボランティア活動への積極的参加	良好	○	○	○	良好につきこのまま継続	
	○ 現場での地域社会貢献	良好	○	○	○	良好につきこのまま継続	
環境負荷の少ない工事实施	○ 環境負荷の少ない材料を使用	良好	○	○	○	良好につきこのまま継続	
	○ 低騒音、排出ガス対策型重機の使用	良好	○	○	○	良好につきこのまま継続	
	○ ICT搭載重機の使用	良好	○	○	○	良好につきこのまま継続	
	○ 型枠、工事看板への間伐材の使用	良好	○	○	○	良好につきこのまま継続	
	○ 濁水防止対策の実施	良好	○	-	○	良好につきこのまま継続	
	○ 手戻り工事なしの促進	良好	○	○	○	良好につきこのまま継続	

省エネ機能付きの冷蔵庫に買替え



R4, 1月 運搬車購入

R4, 3月 現場移動車買い換え



節水表示



扇風機、エアコンフィルターの洗浄



事務所のサンシェードを買替、夏は遮熱断熱効果を高め冬は外して暖かい日差しを取り込み、エアコン、ストーブの使用を抑えた

現場休憩所も寒冷紗を設置 熱中症対策



R3年度 四万十川入田樋門新設外(その1)工事現場にて産業廃棄物分別の様子



R3. 7月、SK35SR, SK55SR  
重機の入替



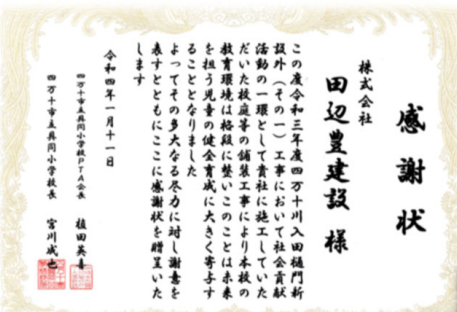
省燃費運転の啓発



高知県産間伐材使用  
の工事看板の設置



R3年度四万十川入田樋門新設外(その1)工事 現場周辺の道路散水作業と清掃活動



R3年度四万十川入田樋門新設外(その1)工事 地域貢献の一環として  
地域の小学校の中庭通路の舗装作業を行い感謝状を頂きました。



## 9. 次年度の環境経営目標

### (3) 単年度目標

項 目		基準年	令和4年度		
		H27. 9-R元. 8 (平均値)	R4. 9-R5. 8		
削減目標	燃料使用量(ℓ)	ガソリン	16,341	15,687	(4%減)
		軽油	71,464	68,605	(4%減)
		灯油	1,468	1,410	(4%減)
	電力使用量(kWh)		18,392	17,656	(4%減)
	CO <sub>2</sub> 排出量(kg-CO <sub>2</sub> )	*1	238,634	229,089	(4%減)
	用水使用量(m <sup>3</sup> )		364	349	(4%減)
	一般廃棄物排出量(kg)		311	299	(4%減)
達成目標	産業廃棄物再資源化率(%)	*2	100%	100%	(100%)
	環境負荷の少ない工事件数(%)	*3	100%	100%	(100%)
	環境美化活動(ロードボランティア回数)		10	10	(継続)

\*1. 電力のCO<sub>2</sub> 発生量については、電気事業者別のCO<sub>2</sub> 排出係数 (H29年度実績)  
の四国電力の調整後排出係数0.535 (kg-CO<sub>2</sub> / kWh) を使用した。

\*2. 原材料としての利用が不可能なものをのぞく。

\*3. 環境負荷の少ない工事：環境負荷の少ない材料を使用。

低騒音、排出ガス対策型重機の使用。

型枠、工事看板への間伐材の使用。

濁水防止対策の実施。

{環境負荷の少ない工事/受注工事件数} × 100



## 10. 次年度の環境経営計画

項目		活動内容	責任者	期限			
CO <sub>2</sub> 排出量 削減	燃料使用量 削減	○ 現場通退勤時の乗り合わせ	環境管理責任者  宮崎  工務 各工事担当者	R5. 8. 31			
		○ アイドリングストップの徹底					
		○ 急発進、急加速の禁止					
		○ 重機の効率良い運転					
		○ タイヤ空気圧の点検					
		○ 余計な荷物、機械を積みっぱなしにしない					
	電力使用量 削減	○ 工務室、現場事務所も不在時の照明は消す	事務局 桑原  総務	R5. 8. 31			
		○ エアコン設定温度の厳守（冷房28℃ 暖房20℃）					
		○ エアコンフィルターの定期的な清掃					
		○ O A機器の省電力設定					
		○ 長期休暇時には、パソコン、プリンター等電源OFF					
		○ 電気製品買換え時にエコ製品の積極的選択					
用水使用量削減		○ 節水意識促進の為の表示	事務局 桑原	R5. 8. 31			
		○ 水道使用後の蛇口の閉まり具合確認					
		○ 洗濯時、一定量まとめて洗濯					
		○ 蛇口等、水回り部の水漏れ点検					
		○ 必要以上に水量を強めない					
廃棄物削減	一般廃棄物	○ ペットボトル飲料の購入を控え、マイボトルを持参	事務局 桑原  総務	R5. 8. 31			
		○ 使用済みインクカートリッジの回収、リサイクル					
		○ 両面、集約コピーの促進					
		○ ミスプリントの裏面使用					
		○ シュレッダーによる再利用不可書類のリサイクル					
	産業廃棄物	○ 現場での有効利用の検討	各工事担当者	R5. 8. 31			
		○ 産業廃棄物の適正処理及びマニフェスト管理					
		社会貢献活動			工務	R5. 8. 31	
		○ ボランティア活動への積極的参加					
		○ 現場周辺での地域社会貢献					
環境負荷の少ない工事实施		各工事担当者	R5. 8. 31				
○ 環境負荷の少ない材料を使用							
○ 低騒音、排出ガス対策型重機の使用							
○ ICT搭載重機の使用							
○ 型枠、工事看板への間伐材の使用							
○ オイルフェンスの設置等、濁水防止対策の実施							
○ 手戻り工事なしの促進							

## 11. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

作成日: 令和4年10月7日

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
廃棄の処理及び清掃に関する法律	第3条	事業者の責務 事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理	必要時	管理責任者	遵守	R4.8.31
	第12条	産業廃棄物の事業者の処理 産業廃棄物の委託契約 水銀使用製品の産業廃棄物対象	必要時	総務	遵守	R4.8.31
	第12条の三 第12条の10,11項	産業廃棄物管理票（マニフェスト）の交付 多量排出事業者（年間1000t以上）に該当した場合 県へ計画書提出、報告	随時 該当時	総務	遵守 遵守	R4.8.31 R4.8.31
	第12条の三 7項	マニフェスト交付状況報告書の作成及び 高知県知事への提出	1回/年 6月	総務	遵守	R4.8.31
騒音規制法	第14条	特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始7日前までに市町村長に届出）	1回/年 6月	管理責任者	遵守	R4.8.31
振動規制法	第14条	特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始7日前までに市町村長に届出）	1回/年 6月	管理責任者	遵守	R4.8.31
建設リサイクル法	第12条	対象建設工事の届出に関わる事項の説明 （発注者に対しては書面を交付）	各工事毎	管理責任者	遵守	R4.8.31
	第12条2	下請工事に対しては下請契約締結前に当該工事の届出事項を告知	各工事毎	管理責任者	遵守	R4.8.31
	第16条	再生資源化等の実施	各工事毎	管理責任者	遵守	R4.8.31
	第18条	発注者への完了報告 （再生資源利用実施書、再生資源利用促進実施書）	各工事毎	管理責任者	遵守	R4.8.31
地方税法 特記仕様書	第700条22の2	不正軽油の使用禁止	必要時 各工事毎	管理責任者	遵守	R4.8.31
オフロード法	第4条2	特定特殊自動車排出ガスによる大気汚染防止 （平成18年10月以降に製作された建設機械については 基準適合表示の貼ってあるものを使用）	1回/年 6月 各工事毎	管理責任者	遵守	R4.8.31
フロン排出抑制法	第5条	業務用エアコン・重機の適正管理 簡易点検の実施と記録の保存	必要時 3ヶ月に1回	管理責任者	遵守	R4.8.31
	第41条	廃棄の際、第一種フロン類充填回収業者へ委託し 回収証明書を受領	廃棄時		該当なし	R4.8.31
水質汚濁防止法	第14条の6 第14条の7	生活排水対策の実施に協力 生活排水による汚濁の負荷の低減に資する設備の整備	1回/年 6月	管理責任者	遵守	R4.8.31
浄化槽法	第10条 第11条	毎年4回浄化槽の保守点検及び浄化槽の清掃 毎年1回指定検査機関の行う水質に関する検査	4回/年 2月	管理責任者	遵守	R4.8.31
グリーン購入法	第5条	物品の購入時にはできる限り環境物品等を選択する	購入毎	総務	遵守	R4.8.31
省エネ法	第4条	エネルギー使用の合理化	必要時	管理責任者	遵守	R4.8.31
高知県環境基本条例	第6条	事業活動に伴って生ずる公害を防止し、又は自然環境 を適正に保全する為、必要な措置を講ずる	1回/年	管理責任者	遵守	R4.8.31
	第7条	日常生活に伴う環境への負荷の低減	1回/年	管理責任者	遵守	R4.8.31
四万十川条例	第7条	流域内において行う事業活動に関し、四万十川の保全 及び流域の振興に自ら努める	1回/年	管理責任者	遵守	R4.8.31

(2) 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

令和3年9月1日より令和4年8月31日までの間、環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。  
過去、5年間についても同様にあります。



12. 代表者による全体評価と見直し・指示

- 定期見直し
- 臨時見直し

見直しに必要な情報				代表者による見直し	
環境管理責任者の報告及び改善提案				変更の必要性の有無・指示事項	
<b>【取組状況の評価結果】</b>				<b>【環境経営方針】</b>	
①環境関連法規制等の遵守状況 環境関連法規制等への違反、訴訟はありませんでした。				変更の必要性： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
②問題点の是正処置及び予防処置の状況 問題はありませんでした。					
③前回までの代表者の指示事項への対応 今年度も、ICT搭載重機の使用で時間短縮と正確な施工が出来、3次元設計データ活用で、計測作業の効率化も図れた。 今後も ICT（情報化施工）技術を積極的に活用していく。					
電気代の高騰は免れないと思われるので節電を無理のない程度に一層お願いする。 <改善提案>				<b>【環境経営目標・環境経営計画】</b> 変更の必要性： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
<b>【目標・環境経営計画の達成状況】</b>					
目標項目	目標値 達成状況	活動計画 達成状況	コメント (目標値、環境活動計画に対するコメント)		
燃料使用量(t) ガソリン	○	○	車両の新型化、低燃費機能とエコドライブによって達成できている。		
軽油	○	○	重機使用が多かったが新型化によって目標値よりは減となった。		
灯油	○	○	現場でのストップ使用がほぼなかった。		
電力使用量(kWh)	○	○	SDGsの世相もあり皆の意識向上により達成できている。		
用水使用量(m <sup>3</sup> )	○	○	現場で使用しなかったので大幅減となった		
一般廃棄物排出量(kg)	×	○	排出量はかなり増えたが、リサイクルできるものの増加の為懸念事項ではない。		
廃棄物の再資源化	○	○	不可能なもの以外は再資源化できた。		
環境負荷の少ない工 事件数	○	○	良好に付このまま継続		
環境美化活動	○	○	良好に付このまま継続		
<改善提案>				<b>【環境管理実施体制】</b> 変更の必要性： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
<b>【周囲の変化の状況】</b>					
①外部コミュニケーション記録より 特にありません。					
②環境関連法規制等の動向他				<b>【総括】</b> 毎年のように発生する災害級の局地的豪雨、真夏の酷暑、秋過ぎても台風など昨今の異常気象の中、新型コロナウイルス感染症と向き合い、さらには世界的な電気不足による電気代高騰と不安材料は多いが、明るい未来を目指し、従業員一同健康に害しない程度の益々の節電を皆で努めていく。	
代表者が自ら得た情報					